

平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日

平成28年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	26,086	9.4	302	125.1	310	147.0	115	173.2
27年5月期第2四半期	23,847	9.3	134	—	125	—	42	—

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 136百万円 (125.6%) 27年5月期第2四半期 60百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	19.42	—
27年5月期第2四半期	7.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第2四半期	18,609	2,243	12.1	378.81
27年5月期	18,634	2,136	11.5	360.80

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 2,243百万円 27年5月期 2,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年5月期	—	5.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,700	9.7	810	43.2	825	48.3	465	117.3	78.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成27年12月25日)公表いたしました「平成28年5月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期2Q	6,021,600 株	27年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	28年5月期2Q	100,004 株	27年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期2Q	5,921,596 株	27年5月期2Q	5,921,596 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高が定着し、企業収益や雇用・所得環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、中国経済をはじめとする海外景気の下振れによるリスクが残るものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに食材価格の上昇、物流費の高止まりなどにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、既存得意先との取引拡大や前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、商品ラインナップの強化を進めるとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は260億86百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は3億2百万円（前年同期比125.1%増）、経常利益は3億10百万円（前年同期比147.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、外商事業における減損損失65百万円、アマカ事業における減損損失33百万円及び店舗閉鎖に伴う特別損失7百万円を計上したこと等により1億15百万円（前年同期比173.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組む、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は163億35百万円（前年同期比10.6%増）となり、営業利益は64百万円（前年同期は営業損失18百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、それぞれの店舗において、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開、近隣飲食店等への営業活動の強化などに注力したことに加え、前連結会計年度に開設した新規店舗や、ネットショップが寄与し、売上が伸長いたしました。新規出店については、平成27年10月に高山店（岐阜県高山市）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は88億80百万円（前年同期比8.8%増）となり、営業利益は6億85百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として43店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、主力商品である貝類に加え様々な水産品の販売を展開し、国内外への販路拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は8億69百万円（前年同期比5.9%減）となり、営業損失は23百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が3億85百万円減少したこと等により、流動資産は全体で3億70百万円減少しました。一方固定資産は、アミカ高山店の出店で建設協力金等が1億72百万円増加したこと等により、全体で3億45百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して25百万円減少し、186億9百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が11億18百万円減少したこと等により、流動負債は全体で7億96百万円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が3億1百万円増加したこと等により、全体で6億64百万円増加しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して1億31百万円減少し、163億66百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が85百万円増加したこと等により、全体で1億6百万円増加し22億43百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間による営業活動によるキャッシュ・フローは6億86百万円の収入となりました。これは、たな卸資産の増加1億85百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益2億5百万円、減価償却費2億31百万円の計上、仕入債務の増加3億63百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは2億88百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1億47百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは7億83百万円の支出となりました。これは、長期借入れによる収入15億円があったものの、短期借入金の純減額11億18百万円、長期借入金の返済による支出11億15百万円等によるものであります。

これらに換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ3億85百万円減少し、6億49百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期の連結業績予想につきましては、平成27年7月14日公表の業績予想を修正しております。詳細は本日別途公表の「平成28年5月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,365,443	979,521
受取手形及び売掛金	5,060,774	4,835,453
有価証券	99,830	99,530
商品	3,651,813	3,831,338
貯蔵品	8,765	14,583
繰延税金資産	94,732	101,302
その他	859,979	907,747
貸倒引当金	△9,950	△8,501
流動資産合計	11,131,388	10,760,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,887,907	3,734,884
その他(純額)	992,960	1,215,563
有形固定資産合計	4,880,867	4,950,448
無形固定資産		
	47,306	61,296
投資その他の資産		
投資有価証券	1,136,824	1,179,096
その他	1,918,015	2,136,586
貸倒引当金	△479,428	△478,657
投資その他の資産合計	2,575,411	2,837,026
固定資産合計	7,503,586	7,848,771
資産合計	18,634,974	18,609,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,145,569	5,509,130
短期借入金	4,412,000	3,293,600
1年内返済予定の長期借入金	1,862,939	1,945,936
未払法人税等	182,212	144,060
賞与引当金	168,832	183,806
ポイント引当金	14,453	16,270
その他	872,743	769,881
流動負債合計	12,658,750	11,862,684
固定負債		
長期借入金	3,014,995	3,316,750
役員退職慰労引当金	169,109	181,044
退職給付に係る負債	271,033	278,837
資産除去債務	267,318	271,549
その他	117,265	455,703
固定負債合計	3,839,722	4,503,885
負債合計	16,498,472	16,366,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,235,438	1,320,831
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,055,399	2,140,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,008	113,333
繰延ヘッジ損益	2,946	△150
退職給付に係る調整累計額	△13,852	△10,798
その他の包括利益累計額合計	81,102	102,384
純資産合計	2,136,502	2,243,176
負債純資産合計	18,634,974	18,609,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	23,847,280	26,086,724
売上原価	19,312,000	21,155,974
売上総利益	4,535,279	4,930,750
販売費及び一般管理費	4,400,995	4,628,477
営業利益	134,284	302,272
営業外収益		
受取利息	5,200	17,607
受取配当金	4,360	5,304
受取賃貸料	38,601	40,145
受取手数料	10,128	10,334
その他	8,961	11,021
営業外収益合計	67,252	84,412
営業外費用		
支払利息	22,046	35,720
賃貸費用	38,642	37,587
固定資産除売却損	7,828	749
その他	7,308	2,147
営業外費用合計	75,825	76,204
経常利益	125,710	310,480
特別利益		
投資有価証券売却益	14,238	—
会員権売却益	—	870
特別利益合計	14,238	870
特別損失		
減損損失	—	99,110
水産品事業関連損失	32,940	—
店舗閉鎖損失	—	7,200
特別損失合計	32,940	106,310
税金等調整前四半期純利益	107,009	205,039
法人税、住民税及び事業税	84,402	128,417
法人税等調整額	△19,486	△38,378
法人税等合計	64,915	90,039
四半期純利益	42,093	115,000
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,093	115,000

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)
四半期純利益	42,093	115,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,329	21,324
繰延ヘッジ損益	18,291	△3,096
退職給付に係る調整額	2,348	3,053
その他の包括利益合計	18,310	21,281
四半期包括利益	60,404	136,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,404	136,282
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	107,009	205,039
減価償却費	213,474	231,977
減損損失	—	99,110
貸倒引当金の増減額(△は減少)	95,203	△2,220
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,013	14,973
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,630	1,816
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,381	11,935
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,538	12,262
受取利息及び受取配当金	△9,561	△22,911
支払利息	22,046	35,720
固定資産除売却損益(△は益)	7,828	749
投資有価証券売却損益(△は益)	△14,238	—
売上債権の増減額(△は増加)	99,499	225,321
たな卸資産の増減額(△は増加)	△146,475	△185,343
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△634,789	△41,502
仕入債務の増減額(△は減少)	217,727	363,561
未払消費税等の増減額(△は減少)	△43,422	△37,670
その他	50,872	△40,930
小計	10,738	871,889
利息及び配当金の受取額	5,230	6,123
利息の支払額	△22,049	△19,284
法人税等の支払額	△29,123	△172,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	△35,203	686,722
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△314,941	△147,528
無形固定資産の取得による支出	△4,761	△25,354
投資有価証券の取得による支出	△6,446	△14,082
投資有価証券の売却による収入	37,448	—
敷金及び保証金の差入による支出	△8,100	—
その他	△15,063	△101,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,865	△288,795

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	457,000	△1,118,400
長期借入れによる収入	1,000,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,111,534	△1,115,248
配当金の支払額	△29,578	△29,834
その他	△6,194	△20,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	309,693	△783,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	266	△37
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△37,108	△385,922
現金及び現金同等物の期首残高	514,293	1,035,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	477,185	649,521

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,764,206	8,159,016	924,057	23,847,280	—	23,847,280
セグメント間の内部売上高又は振替高	102	7,486	29,716	37,305	△37,305	—
計	14,764,308	8,166,503	953,774	23,884,585	△37,305	23,847,280
セグメント利益又は損失(△)	△18,400	553,576	△4,917	530,258	△395,973	134,284

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△395,973千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,335,776	8,880,973	869,974	26,086,724	—	26,086,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	7,601	33,135	40,759	△40,759	—
計	16,335,799	8,888,574	903,109	26,127,483	△40,759	26,086,724
セグメント利益又は損失(△)	64,764	685,292	△23,643	726,413	△424,140	302,272

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△424,140千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

外商事業セグメント及びアミカ事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間において99,110千円(外商事業セグメント65,291千円、アミカ事業セグメント33,819千円)であります。